

Step

おすすめの受験対策

Step1 技術士を目指す第一歩＝第一次試験受験

- ①技術士になるには原則として第一次試験合格が必要。
- ②受験資格は実務経験・学歴不問。2013年度から共通科目が廃止になったので、以前はこの科目で合格できなかった受験者も、2013年度以降はチャンスとなる。
- ③第二次試験受験に際して、第一次試験の合格部門は問われない。合格の可能性が高い部門を選択する。
- ④第一次試験の学習範囲は広い。早めの受験決意と早めの学習スタートが大事。

Step2 第一次受験申込（6月～7月）

- ①受付期間を確認のうえ、余裕を持って準備する。
- ②受験部門の選択は慎重に。過年度問題をチェックして、どの部門を受けるかよく考えて決定すること。

Step3 受験学習

- ①Step1の早い時期から学習を始める。毎日の学習を継続することが基礎力の形成になる。
- ②点数配分の高い専門科目については、最も重点的に学習を行う。次いで出題範囲が広い基礎科目に力を入れる。
- ③試験日が近づいたら、過年度問題や予想問題を使って演習主体の学習を加える。自分の得意・不得意を踏まえ、合格するためには何を集中的に学習しなければならないかをよく考えて対策を立てる。

Step4 試験日（10月）

- ①問題の選択指定数は厳守。指定数を超えて解答すると失格になる。マークシートの塗りミスにも注意。
- ②自己採点用として、問題用紙に解答した番号をチェックしておく。試験日から1週間後に正解が発表になる。
- ③試験から1週間後の正答発表で、合否の見当はつく。合格ラインに達しているようであれば、次のステップである第二次試験の対策を検討・準備しておく。早めの準備が大切。

Step5 合格発表（12月）

12月の合格発表日で合格を確認したら、次は第二次試験にチャレンジ。不合格であったら、敗因をよく考え来年は必ず合格を。

ガイダンスで技術士試験の概要と対策のポイントを理解する。
「平成25年度技術士第一次試験100%合格法」
※P.21参照

過年度問題を研究する。
（過年度問題集（解答・解説付き））
『技術士第一次試験基礎科目解答解説集（平成19年度～平成22年度）』
『技術士第一次試験適性科目解答解説集（平成19年度～平成22年度）』
※P.2参照
『技術士第一次試験[建設部門]解答解説集（平成19年度～平成22年度）』など
※P.23参照

▶[通信教育講座・どの講座も申込後すぐに学習がスタートします]

技術士第一次試験
完全合格対策講座

技術士第一次試験
合格対策講座

※各講座についてはP.6～9参照

第1回スクーリング（6月）

第2回スクーリング（7月）

「基礎科目特別指導講座（オプション講座・8月）」 ※P.14参照
「平成26年度技術士第一次試験基礎科目一日特訓講座」 ※P.15参照
「平成26年度技術士第一次試験適性科目一日特訓講座」 ※P.16参照

第3回スクーリング（9月）

なるべく多くの予想問題・過去問題を解く。
（予想問題集）
『基礎科目・適性科目II100問』 ※P.20参照
『技術士第一次試験演習問題・機械部門100問』
『技術士第一次試験演習問題・電気電子部門I100問』
『技術士第一次試験演習問題・建設部門100問』
など ※P.10～P.11参照

上記の無料ガイダンスを参考に第二次試験対策へのステップを進めてください。